

しろおり きょうりょう
9 城下橋梁 (大正元年)

しろおり
10 城下トンネル (大正元年)

桐生市黒保根町宿廻



城下トンネル

本宿駅から下り線で約1分、水沼駅から上り線で約3分半で見えはじめます。全長82m、断面は馬蹄形をしています。入口付近の壁は石積み、トンネル内の壁は煉瓦積みとなっています。人力により掘られたトンネルの壁面は、開業時のレンガで覆われています。城下トンネルの本宿駅側には城下橋梁と古路瀬溪谷(こじせけいこく)の景観が広がります。

城下橋梁

本宿駅から下り線で約1分、水沼駅から上り線で約3分半で見えはじめます。河床より7mの高さを持つ城下橋梁の上には旧城下橋、さらにその上に現在の国道122号の城下橋がかかります。上路式プレートガーダー形式の橋で全長20mです。三層に位置する橋は時の移ろいと変わらぬ自然の景観の中に存在しています。

えどがわ きょうりょう
11 江戸川橋梁 (大正元年)

桐生市黒保根町下田沢



本宿駅から下り線で約3分半、水沼駅から上り線で約1分で見えはじめます。一級河川江戸川に架かる小さな橋です。全長5.6m、アイビーム形式(I型断面の鋼材を用いた形式)の橋です。列車はこの江戸川と本宿駅の間を、紅葉の名所として知られる古路瀬溪谷の景観を臨む谷あいを縫うように走ります。

ふどうざわ きょうりょう
12 不動沢橋梁 (大正元年)

桐生市黒保根町水沼



本宿駅から下り線で約4分半、水沼駅から上り線で約15秒で見えはじめます。水沼駅の南、不動沢に架かる橋で、間近に見ることのできる数少ない橋の一つです。全長16m、アイビーム形式の橋です。石造の橋脚は昭和12年に増設されたものです。春には黒保根運動公園の桜が開き、夏は水辺の景観が涼しさを誘います。

みずぬまざわ きょうりょう
13 水沼沢橋梁 (大正元年)

桐生市黒保根町水沼



水沼駅から下り線で約1分、花輪駅から上り線で約4分半で見えはじめます。水沼駅の北、堂尻(どうじりざわ)に架かる全長5.8mの小さな橋梁です。アイビーム形式の橋です。北には渡良瀬川に架かる五月橋が、対岸には八木原地区龍禅寺(りゅうぜんじ)の建物が望めます。

おぐろがわ きょうりょう
14 小黒川橋梁 (大正元年)

みどり市東町荻原・桐生市黒保根町水沼野尻



水沼駅から下り線で約3分、花輪駅から上り線で約2分半で見えはじめます。全長54m、上路式プレートガーダー形式の橋です。石積みによる大型の橋台と2基の橋脚が特徴で橋脚の断面は水の抵抗を減らすため、木の葉形をしています。北には銅山街道で栄えた旧花輪宿を望むことができます。

からさわ きょうりょう
15 唐沢橋梁 (昭和11年)

みどり市東町花輪



花輪駅と中野駅のほぼ中間地点、銅山街道旧花輪宿の面影を残す町並みの最も足尾側にある住宅の裏手にかけられた橋で、全長3.4mと短く、駅を出てから1分前後で通過してしまいます。長さ2.4mの橋桁はH鋼でレールを挟んだもので、トラフガーダー形式の橋です。

こなががわ きょうりょう
16 小中川橋梁 (大正元年)

みどり市東町花輪・小中



中野駅から下り線で約3分半で見えはじめます。駅からすぐ近くの国道122号線からも橋全体が見られます。全長40m、2連の橋桁が、2基の橋台と1基の橋脚にのる上路式プレートガーダー形式の橋です。橋台と橋脚は切石積みで、橋脚は木の葉形をしています。